

社会福祉協議会だより

発行／天童北部地域社会福祉協議会



育てよう 地域に関心を持つ心

天童北部小5年1組では、総合的な学習の時間で「地域のために自分たちができることを考えて取り組む」をテーマに学習にすることになりました。

さまざまなアイデアが出された中で、社会福祉協議会の協力のもと除雪ボランティアに挑戦することを計画しました。残念ながら、この冬は暖冬のため除雪ボランティアは実施できませんでした。

しかし、子どもたちは除雪を予定していたお宅にあいさつに行ったり、手紙や折り紙のプレゼントを渡したり、小さな交流が始まっています。今回のことをきっかけに、地域の人・ことに積極的に関わる心が育ってほしいと願っています。

「繋がり」

北部地域社会福祉協議会
会長 佐藤茂男

新年早々、思いもしなかった能登半島地震が発生。多くの方が被災し、いまなお避難生活が続き、先の見えない状況です。

私たち北部地域社協では、地域の中で安心して暮らしていくために、世代を超えて協力し支え合っていくことの大切さを実感しながら、北部地域の町内会連絡協議会、民生・児童委員、福祉推進員、そして多くの皆様のご理解とご協力を頂き活動しています。

誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられるために、私たち自身が何をすれば良いのかを、自ら考えていくことを地域で共有することが大切です。

宮城県女川町にて、東日本大震災の教訓として女川町社会福祉協議会主任・須田めぐみ氏による「今、伝えたいこと」の話を伺い、福祉活動での大切なことをたくさん学んで来ました。

「いつも支えてくれる存在が、一人じゃないと思えることが、何よりあったかい。」という最後の言葉が心に響きました。

人と人が繋がっていくためにも、尚一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。



共同募金

あったかい気持ち 届けました

今年度も「赤い羽根」や「歳末助け合い」共同募金にご協力くださいまして、感謝申し上げます。

自然災害や社会情勢の厳しさが増しており、助け合いの必要性が叫ばれています。

下記の実績に基づき配分委員会を開催し、北部地内にお住まいの「支援が必要とされる方々」に、配分金をお届けしました。

★北部地域の令和5年度実績★

歳末助け合い募金	2,017戸	576,600円
赤い羽根共同募金	2,017戸	862,000円

在宅介護の

ご家庭を訪問

北部民生児童委員会では、要介護のご家族をご自宅で介護なさっているご家庭を訪問しています。

今年度は、12月に59軒のご家庭を訪問して、生活用品などをお配りしながら、それぞれの様子をうかがうことができました。

「いきいきサロン」あれこれ

北久野本一丁目「さわやか」

12月18日に県庁を見学しました。県議会では、議会が開催中で地元の森谷仙一郎議員と会って飛び入りで参加してもらい、地域の課題などについて意見交換をしながら昼食会を行いました。

北久野本四丁目「ひだまりの会」

旧正月の2月10日、県護国神社に参拝し震災の早期復興を願いました。また、新しくできた『道の駅蔵王』を見学してから天童へもどり、昼食は天華で日本料理をおいしくいただきました。

北久野本五丁目「オアシス」

1月18日、北部公民館で危機管理室の方を講師に、防災についての勉強会を行いました。正月早々の大震災もあり、他人ごとではないおもいの中、災害対策の必要性を改めて感じました。



乱 川

7月9日、サロンでは「結城美津子フラダンススタジオ」を乱川公民館にお招きしました。「フラダンスで楽しいひとときを」と題して、優雅なハワイアンのダンスと音楽を楽しみました。

天 童 原

12月9日、将棋むらを会場に3回目のいけばな体験教室を行いました。初めての方もおられましたが、松を中心にした縁起のいい生け花は、参加者の皆さんの新年を彩ったことでしょう。

北久野本三丁目「なかみち」

11月3日、肘折温泉「いでゆ館」へ日帰りのバス旅行を楽しみました。途中「道の駅ねまる」に立ち寄り休憩。いでゆ館では、入浴・食事・買い物・おしゃべりなどで、のんびり過ごしました。

「繋がり」

北部地域社会福祉協議会
会長 佐藤茂男

新年早々、思いもしなかった能登半島地震が発生。多くの方が被災し、いまなお避難生活が続き、先の見えない状況です。

私たち北部地域社協では、地域の中で安心して暮らしていくために、世代を超えて協力し支え合っていくことの大切さを実感しながら、北部地域の町内会連絡協議会、民生・児童委員、福祉推進員、そして多くの皆様のご理解とご協力を頂き活動しています。

誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられるために、私たち自身が何をすれば良いのかを、自ら考えていくことを地域で共有することが大切です。

宮城県女川町にて、東日本大震災の教訓として女川町社会福祉協議会主任・須田めぐみ氏による「今、伝えたいこと」の話を伺い、福祉活動での大切なことをたくさん学んで来ました。

「いつも支えてくれる存在が、一人じゃないと思えることが、何よりあったかい。」という最後の言葉が心に響きました。

人と人が繋がっていくためにも、尚一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。



共同募金

あったかい気持ち 届けました

今年度も「赤い羽根」や「歳末助け合い」共同募金にご協力くださいまして、感謝申し上げます。

自然災害や社会情勢の厳しさが増しており、助け合いの必要性が叫ばれています。

下記の実績に基づき配分委員会を開催し、北部地内にお住まいの「支援が必要とされる方々」に、配分金をお届けしました。

★北部地域の令和5年度実績★

歳末助け合い募金	2,017戸	576,600円
赤い羽根共同募金	2,017戸	862,000円

在宅介護の

ご家庭を訪問

北部民生児童委員会では、要介護のご家族をご自宅で介護なさっているご家庭を訪問しています。

今年度は、12月に59軒のご家庭を訪問して、生活用品などをお配りしながら、それぞれの様子をうかがうことができました。